

反動の嵐に抗して！	2012年	JR 東海労働組合
	2月16日	大阪台検車両所分会
	No11	発行者 西村泰弘 編集 教宣部

体制変更から1ヶ月、現場で働く社員はくたくただ！！

台検の体制変更が実施されて約1ヶ月になろうとしています。
社員のみなさん、どんな感想を持っていますか？
業務量も増えたけど、要員も増えたから、あまり変わらないという方はいますか？
多くの社員のみなさんの実感として、やはり「しんどい」と感じているのではないのでしょうか？！
13本から16本に3本増え、何かあったら、ダイヤどおりには作業は進みません。
作業が遅れることが常態化しているパートもあります。
当然にも少しリフレッシュする時間さえも取れません。
おまけに年休要員が減った為、研修や出張があれば、年休も満足に取れない職場になっています。

すべての責任を背負わせる会社

私たちは人間です。機械の部品ではありません。
私たちは人間なのです。
疲労が溜まれば検修作業で一番大切な判断力にも影響がでます。
それで、ミスがでれば、すべてたずさわった社員に責任は負わせられます。
そして、疲労は労働災害の原因になります。

労働災害が起これば、やはり会社はすべて社員に責任を負わせます。

みなさん、怒りは沸きませんか？！矛盾を感じませんか？！